立花生徒会新聞 Gerbera 通信

第4号　平成24年
4月11日
尼崎市立立花中学校
生徒会執行部　発行

ガーベラの花言葉
常に前進・希望
(立花中学校、全員で常に前進していきましょう)

ご入学おめでとうございます

一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。今日からいよいよ中学校生活が始まります。入学式は緊張しましたか？中学校生活は不安ですか？

私も入学式の時、とても緊張したことを覚えています。友達のこと、勉強のこと、部活のことでの不安がたくさんありました。ですが、いろいろな行事や授業などを通していくうちに、だんだんと不安はなくなっていきました。

1学期が終わる頃にはクラスにも馴染み、まとまりがでてきます。入学して一年たった今では、入学したときには知らなかった人とも仲がよくなり、ふざけ合ったり、時には相談しあったりすることができます。みなさんは、友達をたくさん作りたいですか？そう思うなら、たくさんの人に話しかけてみてください。

中学校では1学年の人数が増え、クラスの人数も多くなります。なので「友達」という存在がとても大切になってくれると思います。例えば、中学生は思春期をむかえ、さらに小学校より人数が増えるのでクラスの中でぶつかることや、気に入らないことが出てくるでしょう。そんな時に、担任の先生よりも家族よりも、信頼できる友達に話したくなると思います。

その友達を作るきっかけが一番多いのは、やはり部活です。

クラスの人より多くの時間を一緒に過ごし、楽しい思い出も辛かったことも分け合うことができ、より絆が深くなります。友達を大切にして、よりよい中学校生活になるように心がけましょう。

中学校では勉強が急に難しくなります。まずは、予習・復習をしっかりしておくことが大切です。前の日に少ししておくだけで、授業がわかりやすくなります。

次に、ノートを工夫することです。テスト勉強のときや、復習するときなどに理解しやすくなります。ほかにもやり方はたくさんあります。自分でやり方を見つけてみてください。

中学校では、ルールが厳しくなったり、勉強が難しくなったりと大変なことが多いと思いますが、中学校生活を楽しく送れるような工夫をして、たくさんのことに挑戦してみてください。

立花中学校

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。まだ入って来たばかりでわからないことが多く、不安を感じている人が多いと思います。以前おこなった中学校説明会を覚えていますか？その時もお話ししたように、この立花中学校（立中）は先輩が優しく、とても良いところです。新しい環境に早く慣れるためには、立中のことをよく知っておくことが第一歩だと思います。この記事を読んで少しでも立中について知ってもらえたら嬉しいです。

まず最初に、みなさんの気になっているであろう部活動についてです。立中には、運動部が11、文化部が6の計17の部活があります。中には、男子しか活動できない部活や、逆に女子にしか活動できない部活もあるので注意しましょう。もうすぐ「仮入部期間」というのが設けられます。「仮入部期間」では、約一週間の間、様々な部活を体験することができます。その期間の間に「自分がしたいこと」や「自分に合った部活」を見つけられたらいいですね。部活は必ず入らなければならないものではありません。勉強と部活を両立することが難しいと感じる人も多いと思います。自分にあったスタイルで学校生活を送るようにしましょう。

次に委員会活動についてです。立中には7つの委員会があります。どれも活動内容が違い、責任感が問われ、とても本格的です。部活と違い体験ができないので、委員会に入りたいと思っている人は「自分が責任感を持って、最後までやりきれる」と思うものを慎重に選ぶようにしましょう。

そして最後に、立中の生徒会についてです。（生徒会とは、みなさん全校生徒のことです。）その生徒会の中で皆さんの前に立つのは「生徒会執行部」である私たち7人です。私たちは、皆さんの見本になれるように日々努めています。その他にもみなさんが快適に学校生活を送れるように様々な取り組みを行っています。7人で力を合わせてこれからも頑張っていくので、みなさんご協力をよろしくお願いします。

わからないことがあれば、私たちや先生、先輩などに聞いてきてください。きっと、わかりやすく教えてくれると思います。

中学校生活が皆さんにとって思い出深いものになることを願っています。

立中のルール

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。いよいよ中学生ですね。中学生になり、皆さんは「規則」というものを守らなければいけないようになります。

小学校にも規則はありましたが、中学校では小学校よりも厳しくなります。（どの中学校にも規則はありますが、立花中学校の規則はとても厳しいといわれています。）

皆さんの多くは「規則を守れるかどうか不安だ」と感じているのではないでしょうか。ですが、大丈夫です。規則というのは、意識して守っていると、自然に守れるようになります。なので、不安に感じることはありません。

さきほども言ったように、中学校にはさまざまな規則があります。主に風紀という身だしなみの面での規則や中学校で生活していくにあたっての規則などがあります。以前におこなった中学校説明会を覚えていますか？その説明会でブチ風紀検査をおこなったと思います。「ブチ」だったので細かくは見ていなかったのですが、実際の風紀検査ではスカートやズボンの丈、髪の長さなど細かく見られます。

風紀検査がそろそろある、という話をすると「えっ、あるん、やばい。」という声をよく聞きます。風紀検査があるからと言って身だしなみをきちんとするのではなく、常に日頃から身だしなみをきちんとしておくことが大事です。きちんとしておく癖がつくと、風紀検査などの身だしなみの部分で困りません。

中学校で生活していくにあたっての規則というのは、これからの生活のなかで大切になってくるものばかりです。風紀もそうなのですが、規則というのは自然に守れるようになると、将来にとても役に立ちます。なので、自然に守れるように日頃から周りを見て、正しい行動をしましょう。

中学校生活は大変なことばかりですが、きちんと規則を守って正しい行動をしていれば規則のことで悩むこともなく、楽しい中学校生活が送れると思います。

きちんと守って楽しい中学校生活にしましょう。

新聞のタイトル

今の、生徒会新聞のタイトルは「Gerbera」です。これは「Gerbera」と書いてガーベラと読みます。みなさんは、ガーベラという花をしっていますか？タイトルを「Gerbera」にした理由は、花言葉が「常に前進」で、この立花中学校全体が一つになって常に前進していく、そういう思いを込めてつけました。それに、花言葉ならたくさんの種類があるので、気にいったものが見つかると思ったからです。

最初は、ガーベラの他にも十人十色や、日進月歩などの候補もありましたが、先生や生徒会執行部のみなさんの意見を聞いて「Gerbera」に決定しました。ちなみに、ガーベラにもたくさんの種類があって、この「常に前進」の意味を持つガーベラは赤色のものだけだそうです。

あと、赤色のガーベラには「常に前進」の他に「希望」という意味の花言葉もあります。希望という言葉には、実現を望み願うこと、将来に対する期待、そして明るい見通しなどの意味があります。みなさんには、こういった意味を持つ希望をもって、頑張っていってほしいという思いも込めました。

ガーベラは、綺麗で花言葉も意味が深くて新聞のタイトルにはぴったりだと思いました。ガーベラは、前向きな感じがして咲いている様子も明るいです。その、ガーベラを見て心が明るい気持ちになり、私たちも前向きになりがんばろうと思えるのではないでしょうか。立花中学校の全校生徒が、明るい気持ちで前向きに勉強、生活面など全てのことにたいして常に前進し、より良い中学校をつくっていきたいという願いも込めています。全校生徒が常に前進していくために、私たち生徒会執行部も止まることなくいろいろな面で常に前進していきたいと思います。

私たち生徒会執行部は、文化発表会や体育大会などの大きな行事を成功させられるようになりたいです。そのために、みなさんや先生方の信頼を得て、協力してもらえるように一生懸命頑張りたいと思います。

なので、みなさんご協力をお願いします。

編集後記

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中学校は小学校とは違うので、気持ちをしっかりと切り替えて勉強や部活に一生懸命取り組んでいきましょう。（池田・岩崎・池本・梶本）